

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果(広報用)

プログラム名	マレーシア教育実践インターシップ	
学部・研究科名	教育学部・教育学研究科	
プログラム実施期間	2018年8月26日 ～ 9月2日	
研修先(国・都市・施設名)	マレーシア・クアラルンプール・St. Mary Elementary school & High school	
参加者数 : 12名		知の森からの支援者 : 10名
プログラム概要	マレーシアの首都クアラルンプール市内にある小学校、中学校、高等学校において国際インターンシップをおこなう。本プログラムは教育学部学生対象なので、授業参観・授業実践などの教育活動が中心であり、岡山大学教育学部の短期留学プログラムとのジョイントインターンシップである。実習期間において相互授業参観、合同の成果発表会を実施することで相乗効果を期待している。昨年度のカンボジアで行った同様のジョイント短期留学プログラムにおける参加学生のコメントではどちらの大学でもその効果が認められた。その他、マレーシアの文化と歴史を知るための視察やマレーシアの大学に留学している信州大学学生と交流をおこなう。	

実施状況・成果

8月26日(日)に羽田国際空港に参加者12名全員が集まり、夜便で出発した。翌朝(8月27日(月))クアラルンプール国際空港に到着し、St. Mary Elementary school に向かった。学校への移動はチャーターしたバスで行った。同校では朝食を兼ねての歓迎会に参加した。学校の施設見学を行った。午後はホテルに戻り授業の準備を行った。8月28日(火)と8月29日(水)に以前に申し出た学年で各自授業を行った。朝St. Mary学園まで移動し、そこで小学校チームと中等学校チームにわかれて、行動した。当日授業のない人は授業者のサポート、授業の記録を行った。また、余裕があれば、岡山大学学生の授業や現地マレーシア人の先生の授業などを参観した。先方の学校は国際交流の良い機会と位置づけ、授業のサポート、軽食の提供、児童・生徒との交流の機会提供など便宜を図っていただいた。夕食後、岡山大学は30名以上の参加者が有り、3チーム、信州大学チームは1チームの班長および教員からなる班長会で健康管理、問題点、翌日の予定などの話し合いがされた。その後各チーム毎に班会議が行われた。8月30日(木)はマレーシア独立記念日である。この日は、学生の授業実施後、St. Mary Elementary schoolの学校行事「マレーシア独立記念フェスティバル」に参加した。多民族国家のマレーシアではダイバーシティを誇りに思うような指導がなされ、マレー系、中国系、インド系などの民族毎の発表もあり、本学学生も日本の伝統文化を紹介するために盆踊りを披露した。ゆかたを持参した学生も複数おり、フェスティバルに花を添える形になった。8月31日(金)は信州大学・岡山大学合同のインターンシップの反省会が行われた。学生の事後アンケートでは、本インターンシップの経験は今後の学生生活に役立つと思うかという質問に対し、大変そう思うが9名、そう思うが3名との肯定的な回答があった。また、岡山大学との合同での研修についてもほとんどの学生は良かったと回答しており、シナジー効果が期待できると感じた。

学生の声①-教育学研究科 学生

マレーシアで授業するに当たり、英語に訳してどのように授業を行えば良いのか悩んでいました。その様な中で岡山大学の学生の授業を見ると、説明は単文で、中学レベルの文法で話をし、積極的に会話をし、子どもとの距離を縮めていた。日本でも当たり前のことを英語でするだけであつた。その様な簡単なことを改めて気づかされた。

学生の声②-教育学部 学生

実際にマレーシアの学校に足を運んでみて、ICT活用や教師の態度、子どもたちの姿勢などが分かった。日本の学校と比較してどうしたらよりよくなるか考えたいと思った。

授業の様子



独立記念フェスティバルに参加し盆踊りを披露した

